

# 茨城県農産物販売推進東京本部情報

平成30年 4月

## 1 東京都中央卸売市場(平成30年1~3月)の青果物取扱高について

- ① 全体の入荷量は約44.1万 t で、前年比7%減、金額は約1,491億円 で前年比5%増となった。
- ② 茨城県産の入荷量は約5.0万 t で、前年比2%減、金額は約147億円 で前年比17%増となった。  
 (金額の内訳は、野菜129億円、果実19億円。前年同期比で野菜19%増、果実6%増、平年同期比で野菜30%増、果実10%増)  
 →金額が【増加】した品目(前年対比) : こまつな(164%), はくさい(149%), いちご類(106%)  
 →金額が【減少】した品目(前年対比) : れんこん(89%), ピーマン(89%)

茨城県の1~3月計の青果物入荷量は平年比99(シェア11.3%)、取扱金額は同127%(シェア9.9%)となった。

	市場計 ※2			茨城			他県のシェア(1~3月計)			
	1~3月計	年間計	年間比	1~3月計	年間計	年間比	千葉	北海道	栃木	
数量	H30	440,849		49,778	←シェア(11.3%)		12.5%	9.6%	3.7%	
	H29	475,811	1,993,784	23.9	50,847	236,401	21.5	13.1%	9.0%	3.4%
	(前年比)	93		98	シェア(10.7%)					
	平年値※	475,178	2,003,425	23.7	50,223	228,862	21.9			
	(平年比)	93		99	シェア(10.6%)					
金額	H30	149,069		14,720	←シェア(9.9%)		9.6%	3.2%	7.8%	
	H29	141,710	570,001	24.9	12,542	60,163	20.8	9.1%	4.2%	7.9%
	(前年比)	105		117	シェア(8.9%)					
	平年値※	134,612	553,870	24.3	11,606	56,082	20.7			
	(平年比)	111		127	シェア(8.6%)					

(単位: t, 百万円, %)

- ※1: 平年値は平成25~29年の5カ年平均。  
 ※2: 市場計は東京都中央卸売市場における総計を表す。

《参考》  
 平成29年実績(1~12月計)  
 茨城県: 金額シェア(10.6%), 数量シェア(11.9%)  
 千葉県: 金額シェア(8.0%), 数量シェア(10.9%)  
 北海道: 金額シェア(5.9%), 数量シェア(11.6%)

## 2 東京都中央卸売市場(平成30年3月単月)の茨城県産青果物主要品目の取扱高

( )内は前年対比

野菜類の入荷量は約1万5千トン(102%), 単価は250円(98%), 金額は約37.6億円(99%)  
 果実類の入荷量は約6百トン(107%), 単価は1,046円(103%), 金額は約6.5億円(111%)

※平年比(全国比)は、市場全体の数量、単価と、市場全体の平成25~29年同月の5カ年平均値との比率

	品目	数量(t)			単価(円/kg)			金額(千円)				
		前年比%	平年比	平年比(全国比)	前年比%	平年比	平年比(全国比)	前年比%	平年比			
野菜	レタス類	3,591	105	104	121	163	89	82	84	586,313	93	85
	はくさい	3,609	90	94	100	110	89	141	155	395,610	80	132
	ピーマン	690	81	101	107	571	119	105	100	393,676	96	106
	れんこん	734	157	102	102	422	57	86	86	309,682	89	87
	<b>野菜類計</b>	<b>15,050</b>	<b>102</b>	<b>102</b>	<b>101</b>	<b>250</b>	<b>98</b>	<b>103</b>	<b>105</b>	<b>3,758,521</b>	<b>99</b>	<b>104</b>
果実	いちご類	560	111	90	98	1,104	101	118	111	618,362	113	107
	<b>果実類計</b>	<b>626</b>	<b>107</b>	<b>92</b>	<b>92</b>	<b>1,046</b>	<b>103</b>	<b>117</b>	<b>114</b>	<b>654,642</b>	<b>111</b>	<b>108</b>

(野菜)

- レタス 2月までの低温の影響で出遅れていた本県や兵庫県等の出荷が3月に集中し、市場全体で平年比121%と入荷量が増えた。その結果、平均単価は前年比89%、平年比で82%、販売金額は前年比93%となった。
- はくさい 本県産の春はくさいは、1,2月の低温・少雨の影響により生育・肥大が遅れ、例年と比べて遅めの出荷開始となった。秋冬はくさいは、長雨・台風の影響で小玉傾向となり、その結果、出荷数量は前年比91%となった。なお、前年3月は、秋冬はくさいの切り上がり前進化に伴う市場入荷量減少により単価高だったため、平均単価および金額は前年を下回った。
- ピーマン 低温の影響により生育が遅れていたが、3月の好天の影響により生育が回復し、平年並の出荷数量となった。前年は、本県だけでなく宮崎や高知県なども出荷前進により市場全体の数量が増え、平均単価が低かったことから、本年の平均単価は前年比119%・平年比105%、販売金額は前年比96%・平年比106%となった。

(果実類)

- いちご類 数量は平年比90%ではあるものの、曇天等の影響で数量の少なかった前年を上回り、前年比111%となった。果実類全体の数量減・高値基調の影響もあり、平均単価は前年比101%・平年比118%、販売金額は前年比113%・平年比107%となった。

※各数値は、東京都中央卸売市場実績を基に算出